

蔵増北青壮年会だより
発行 第35号
平成13年7月20日



そうねん

発行人会長 山崎 秀行
編集委員長 奥山 正男
編集 機関紙編集委員会



**地域の仲間が集い
思う存分 競技 麻雀
牌の感触を堪能の一日**

date 平成13年1月14日

**第一回
蔵増北新春麻雀大会**
旧知の仲間が集まった
OBもルーキーも
中堅も
顔合わず機会も
少ない 現社会
心は通い合っていた
会話に 声が弾む
何年振りだろう
思う存分のこの一日
きつと 来年も
(6ページに詳細掲載)



地域全体のみなさんの奉仕で住み良く、やすらぎのある環境がつくりられています。(写真はゴミゼロ運動、公園の草刈作業奉仕 H13.5.27)

「歳増北青壮年会」に改称 平成十二年度総会を決定される

北壮年会の平成十二年度総会が二月二十五日(日)北公民館で開催されました。議事に入る前に、歳増幸

義さん、渡辺渡貴雄さん、山崎敏也さんに感謝状が贈られました。御三方は特に平成四年に行われた「べに

会長あいさつ

花国体デモンストラーション大会、等で二役としてリーダーシップを発揮され北壮年会の名を県下に知らしめました。長年の活動に深く感謝を申し上げます。

次に山崎秀行会長が挨拶に立ち、一年を振り返って、将棋部が歳増地区の地域づくり委員会主催の将棋教室に全面協力をし表彰を受けたことや、二十一世紀初の試みとして元日に新春大懇親会を開催し成功裏に終えたこと、更に北区全体を対象にした新春麻雀大会を開催するなど、これまでにも増して意欲的な活動の展開が図られたことに対して感謝の言葉を述べられました。その後、報告並びに議事に入り、全て満場一致で承認、可決決定されました。

なお、今回の総会で特筆すべき点は次のとおりです。

会名の改称について

このことについては、昨年の二十周年記念事業の際に伊藤孝男市連合青壮年会長から呼びかけがあり、以来、理事会、臨時総会でも議論が交わされました。二月十七日に開催された臨時総会では、「北壮年会が発足して二十年の歳月が経ち、今後とも壮年会で良いのか」という疑問や、「かと言って、年齢構成を若年層に広げるにも本会の場合は消防団を退団(三十一歳ぐらい)してから入会というこれまでの流れがある」とか、「壮年会発足のきっかけは、青年団や消防団を卒業すると交流の場が何



地域づくり委員会主催「将棋教室」に将棋クラブが協力 公民館表彰を受ける森山部長 (H12. 11. 26)

にも無くなってしまう。そうした世代が交流できる組織を作ろうということだった」という先輩の話もあり、組織を考える良い機会になりました。総意としては、年齢構成を変えるまでには至らないが、会員の意識を高め、イメージアップを図るためにも名称は「歳増北青壮年会」に改めた方が良いという考えでまとまり、総会に諮り規約改正が行われました。また、次の事業は十三年

度も継続すべきとして案に盛り込まれました。

大懇親会、新春麻雀大会とも継続

21世紀の扉を開こうという企画で大好評を得た「大懇親会」や「新春麻雀大会」も是非継続すべきという意見が多く十三年度事業計画案に盛り込まれました。「大懇親会」については残念ながら人数が少なかつたため時期を検討することにしました(奥山正男 記) * * * * *



新三役です
どうぞ
よろしく

新副会長
今田 光 一 (北1)

大変面白いスポーツだなど思いました。砂場の所のホールでは何回も打ち直しになり、大変印象に残っています。スコア

21世紀になって、副会長という大役を受け、私にできるのだろうかと考え込んでしまったところですが、会長をはじめ、副会長二名と会員皆様の御協力をいただいて、がんばってやっつけていこうと思っ

ています。役職に就いてまだ三ヶ月ということもあり、分からないところが多いものですので、五月二十七日に行われたゴミゼロ運動と、ランドゴルフについて少々書いてみたいと思います。ゴミゼロ運動として公園の草刈り奉仕作業、朝早くから会員の皆様本当にありがとうございました。また、ランドゴルフに参加させて

は散々でした。また機会があれば参加したいと思っております。これからも色々な行事があります。会員のみなさんの御協力よろしくお願ひします。
* * * * *

新役員紹介

- | | |
|-------|-----------|
| 会長 | 山崎 秀行(北二) |
| 副会長 | 今田 光一(北一) |
| 理事 | 奥山 正男(北二) |
| | 熊澤 常也(北三) |
| | 土屋 政美(北一) |
| | 森谷 忠男(北二) |
| | 森山 信之(北一) |
| | 森山 美典(北二) |
| | 秋保 栄(北二) |
| | 土屋 忠幸(北二) |
| | 五十嵐利夫(北三) |
| | 東海林由人(北三) |
| | 山崎 秀樹(北三) |
| 監事 | 後藤 賢次(北二) |
| | 佐藤 正男(北三) |
| ソフト部長 | 山崎稔(北三) |
| 将棋部長 | 森山美典(北二) |
| 麻雀部長 | 斎藤 勉(北三) |
| 謡曲部長 | 土屋弘良(北一) |
| 書道部長 | 東海林隆(北三) |
| 写真部長 | 大木富雄(北二) |

ニューフェイス インタビュー



北1区
土屋 仁 さん

土屋さんは、昭和三十年生まれ、家族は両親(お父さんは英雄さんと妻、二人の男の子の六人家族です。仕事は山形ナショナルで建築設備(主に役所関係)の営業の仕事をしており、酒田に十二年間勤務してききました。趣味は、実益を兼ねた海釣り、酒田時代に覚え、初めは磯釣りでしたが、会社所有の船があったので、四級船舶免許を取得し、船釣りに転向しました。狙う魚種は主にアジと黒ゾイで、最高の釣果は四人で黒ゾイが、クーラーボックスいっぱいだったそうです。ただ、し、ヒラメ釣りは、挑戦したが一匹もかからず、心残りということでした。青壮年会に入会した理由としては、長年地元を離れていたため、いろいろな人と交流を深め、地区がもっと発展するように役にたきたいと語ってくれました。また、同級生も珍しいことにほとんど地元に残っており、青壮年会活動を通して皆と一緒に酒でも飲みたいなど期待しておりました。また、所属するクラブは決まっていますが、一年間考えてから入部したいということでした。ただ、今まで避けていたゴルフもやってみたいということでした。(聞き手 後藤賢次)

元旦だよ ざっくばらんに 21世紀を祝う会 開催

一月一日（元旦）記念すべき21世紀幕開けの日、午後三時、降りしきる雪の中（後に昭和五十五年以来、21年振りと言われた豪雪のその始まりの日）、八幡神社に集合、壮年会三役をはじめ



あいや〜 ください、ごっつおなつてエ！ 「21世紀」もまずは飲んで仲良く・

じめ多数の会員が一堂に介し、今年一年の壮年会活動の成功・無事と皆の幸福を祈願して参拝。その後北公民館二階の大広間に移動。「21世紀を祝う会」新春大懇親会の開宴となった。料理は、発起人の山崎稔さんたちが愛情込め大晦日

から熟成させた絶品のおでん、煮込み、そのほか盛り沢山。会員各自が持ち込んだ料理もあってテーブルの上はご馳走溢れんばかり。今回の企画、元日って意外とフリーで、多くの人が集まるだろうと思って狙ったが、意外に少なくて…。



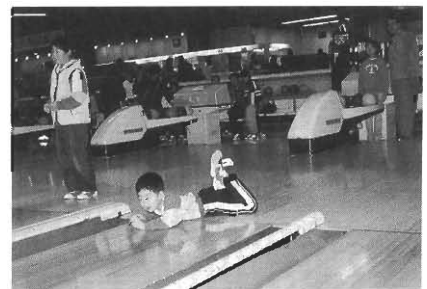
左から土屋忠治、奥山正男、東海林隆さん

歓声飛び交う ボウリング大会

（土屋博明 記）

参加した人は大満足だったが、開催時期についてひと論争、初めての企画なので最初から満員御礼なんていくわけない。時期、内容を検討し来年度も是非実行しようということになった。20世紀から21世紀、世紀を橋渡しして心のこもった料理を準備してくださった山崎稔さん、土屋公男さん、東海林由人さん、大変ご馳走さまでした。次回の企画に、こうご期待。

競技は二ゲームトータル方式で行い、優勝は三百三十三点を挙げた奥山正男さん、二位東海林隆さん、三位土屋忠治さんでした。この大会の上位入賞者は二月四日に行われた蔵増地区青年会ボウリング大会に出場し、東海林隆さんはここでもハイゲーム賞を獲得する大活躍で二位に入賞しました。（秋保栄 記）



よし狙いどおりだ！今田祥平くん



方向よし・狙いよし・後は運まかせ

狙いはホールイン

地区青壮年会グランドゴルフ大会

去る五月二十七日に小学校グラウンドにおいて蔵増地区青壮年会グランドゴルフ大会が開催されました。第二回目の大会でしたが、参加チームが五チームと少なく、総勢三十数名で団体戦と個人戦を行いました。北青壮年会からは二チー

ムが参加しAチームが見事準優勝に輝きました。当日は天候に恵まれ、昨年の雪辱(昨年七位と八位)を期して臨みましたが、ボールが中々言うことを聞いてくれなくて優勝した窪野目チームに大差を付けられました。窪野目は昨年についで優勝でした。

そんな中、各自がホールインワンを狙って果敢に攻めたのですが、我がチームからは残念ながらホールインワンは出ませんでした。来年こそは優勝を勝ち取るぞ。(森山美由記)

北二 山崎 諭 さん



この人

今回は北壮年会前会長の山崎諭さん宅を訪ねました。

壮年会においての山崎さんの活躍は皆さんよくご存知かと思いい、それ以外のことを主にお聞きしました。まずは、恒例の質問で趣味は？とお聞きしたところ、「前は野球と言っていたが今は野球観戦かな。それから今は忙しくてなかなか練習出来ないけど書道を少し。」とのことでした。謙遜して話していましたが、書道は何と四段の腕前です。また、暇を見つけては、

奥さんと二人で美術館巡りを楽しんでいそうです。山崎さんは、かつて市の連合青年団長も経験されており、その当時の山崎さんらしいエピソードをお聞きしました。昭和四十七年に市内一周駅伝大会を行うとき、どうしても国道の信号を止めなくてはならないということ警察署に交渉に行つたが相手にされなかつたそうです。そこで山崎さんは、「地域のために汗を流す者」にどうして警察は協力できないのか。」と粘りに粘つて、とうとう許可を取つて大会を成功させたということでした。その時に「一生懸命になれば、何とか道は開けることを学んだ。」と話されました。

仕事についてお聞きしたところ、「農業を経済的に

考えればとても大変な仕事だ。しかし、田んぼで働いているとき、何気なく見える月山、葉山がとてもきれいで感動する時がある。そんなとき、農業をやつていて本当に良かったなと感じるんです。」と話されました。

今回山崎さん取材して静かな語り口の中に一本の芯があることを感じ取ることができました。このような人が我が青壮年会の一員であることを誇りに思いました。(聞き手 今田仁志)

☆ 第24回詰め将棋 将棋クラブがあなたに挑戦

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					竜		皇	
							兵	兵
						王	兵	兵

ヒント
③五に玉方の駒があれば、③二金の一発です。
五分で四段。七手詰め。



楽しさ満開 麻雀の醍醐味 満喫

◆◆第1回新春麻雀大会開く◆◆

何待ってんの？ わっかんねえだろうな～

大会は競技麻雀ルールで、持点三万点、プラスは勝ち、マイナスは負け、百点棒一つでもプラスは一勝となる。一回戦四十五分、六回戦を行いその勝敗数を競う。中盤の四回戦終了後の戦況は、OBの鎌倉博史さんが四戦全勝でトップを走り、それをOBの森谷定雄さん、一般会員の佐藤政幸さん、現役

平成十三年一月十四日、麻雀愛好者から実現を望まれていた「蔵増北新春麻雀大会」が北公民館で開催された。これは、部員だけの競技から参加者の範囲を北区全体に広げ、地域皆で麻雀を楽しもうという主旨で壮年会が主催し、麻雀部が主幹にあたった。参加者は二十四名、その内半数以上の十四名が一般の方という目論見どおり、とても新鮮な顔ぶれで気持踊る雰囲気での大会となった。

の渡辺勲さんほか数名が一勝差で追う。

五戦目からは上位の直接対決となり、外野から見れば興味津々の潰し合いの様相を呈してきた。

優勝は森谷定雄さん

結果は、現役時代も数々の栄冠を手にかけている森谷定雄さんが三位から一気に躍り出て優勝を手にした。二位には麻雀部員で手堅い土屋強さん、三位には麻雀部ルーキーの森谷茂泰さんが入った。OBの鈴木哲郎さんや、岩淵武夫さんたちは、麻雀は三十数年振りなどと、筋書きの無いゲーム展開と牌の感触を楽しんでいた。軽いジョークが飛び交う和やかな大会となり、来年も継続することになっております。(山崎稔 記)

十二年度トナメント戦

斎藤部長が平成七年度以来一度目の優勝飾る
優勝 斎藤 勉
二位 森山 美典
三位 山崎 稔

若き棋士の活躍に期待

将棋クラブの一年を振り返って

将棋クラブは部員十六名で活動を行い、十月の大井沢一泊研修、十一月の芋煮会及び二月の市連合青壮年会将棋大会を中心に活動を行ってきました。



次はこう行って ああなって、う～ん 家のテレビゲームより、めっちゃおもしろい。

(写真は北区の将棋教室)

これまで北区で子ども達に将棋を教えてきましたが、昨年十月からは、第二、第四土曜日の月二回、蔵増地区地域づくり委員会主催の将棋教室においても指導を行っております。その功績が認められ、公民館大会で表彰を受けました。

この将棋教室は、小学二年生から六年生までを中心

に約二十名ほどが集まり、廻り将棋、はさみ将棋、本将棋など、将棋に親しんでもらうことを目的に開催されております。さすがに集中力の高い有望な子もおり、更に棋力を伸ばしてやりたいと思っております。将来プロ棋士を是非蔵増からと夢見ているところです。



12年度は若き棋士が多数入部
夜な夜な第2土曜日、この日を楽しみに集まってきました

他チームも相当
若返っております。
我が部も十二年度
入部した若き棋士
の成長に期待し、
三度目の優勝を目
指して更にがんば
っていきたくと考
えております。
皆さんも壮年会
発足時から活動し
ている伝統ある将
棋クラブに入会し
て、将棋の面白さ
を味わってみませ
んか。(森山美典記)

二月十一日、北地区の新
春将棋大会が開催され、前
部長の後藤賢次さんが念願
の初優勝を飾り、喜びをか
みしめておりました。
伝統あるこの大会ですが、
年々参加者が減っているの
が悩みの種です。前述の新
春麻雀大会のように、多く
の参加者を募るのが今後の
課題と考えております。

新春将棋大会で 後藤賢次さんが初優勝

Aチーム敢闘戦で二位 市連台将棋大会

二月二十五日、市連台青
壮年台将棋大会が「パルテ」
で開催され、過去二回の優
勝経験を持つ我が将棋部は
二チームを擁し優勝を目指
し大会に臨みました。結果
は残念ながら実力を発揮で
きず決勝トーナメントには
進めませんでした。でも、
Aチームは敢闘トーナメン
ト戦で粘り強く戦い三位と
健闘しました。

近所のニュース

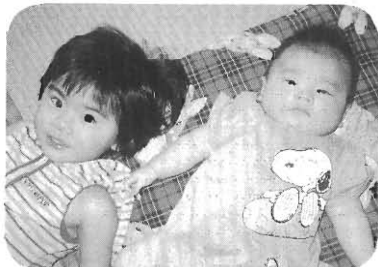
おめでとうございます

鈴木光芳さん婚約

北1区の鈴木光芳さんが婚約
しました。フィアンセは智恵さ
ん。いつまでもHAPPYに。

お宝 赤ちゃん誕生

森谷茂泰さん・あかねさん
長男 茂仁加くん (H13. 4. 27生)



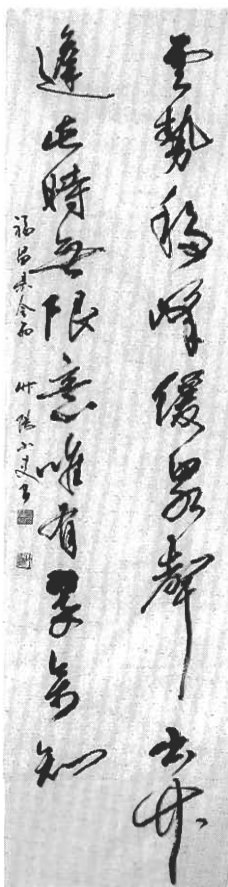
左から日南子ちゃん、茂仁加くん

☆会員の家庭に生まれた赤ちゃんや、
結婚など、地域内でこんな良い話があ
った…など、シアワセな ニュース
がありましたら最寄りの 編集委員
までお知らせください。

わたしの作品

《岩月先生の作品》

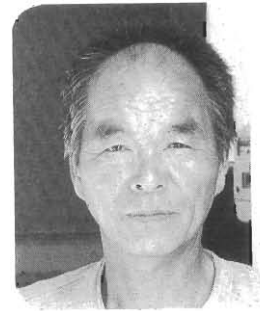
今回は、当
部講師の岩月
竹陽(啓治郎)
先生を紹介い
たします。
書道部発足
の際(昭和六
十二年)当時
の森山栄会長
森谷功部長か
ら三顧の礼を
以って講師を
依頼され、教室を開き今年
で十四年目になります。筆
を持つて三十数年、多方面
で活躍されている先生に書
の道に入るきっかけをお尋
ねしました。「家のお墓を
建てる際自分で字を書いて
後世まで残したいと思い、
一生懸命その字だけを書いて
て一年がかりで完成させた。
その喜びが書の道に入った
きっかけ」と話し、また、
「名高い書道家渡辺翠山
(峰三)先生に師事し、次
第に書の奥深さを感じ何度
か壁にぶつかり挫折したこ
ともある。でも「継続は力
なり」が信条」と語りまし
た。無鑑査に合格されて八
年、ますます先生の書に磨
きがかかっています。私達
も人格ただよう岩月先生を
誇りに思い、部員一堂がん
ばります。(佐藤俊彦記)



「雲霧峰を移りて緩やかに、泉声竹を出で、
遅し、此の時限りの無き意、ただ翠鳥の知るあるのみ」

福留県会 竹陽 書

地域に汗する



北区の交流拠点である北公民館の館長さんの仕事は三区の五十嵐俊一さんから、二区の鈴木幸雄さんにバトンタッチされました。

今回は、家を新築したばかりで、木の香りがいっぱいする鈴木さん宅におじゃまをして抱負を伺いました。

皆さんも御存知の事と思いますが、館長さんの役は二年区切りで、各区持ち回りになっております。今回は二区の順番で、鈴木さんは、「他にも優秀な諸先輩がおられるにも拘らず、お引き受けすることになりました。」と謙虚に語り、「何も分かりませんが、迷惑をかけないよう精一杯がんばります。公民館行事を活気あるものにするには、皆さんの積極的な参加を無くしてできません。地域内の交流、親睦を深めていくためにも惜しみない協力をお願いしたい。」と呼びかけていました。

おいでよ公民館へ 素晴らしきボランティア

また、公民館を利用する際には、「使用する時はまず連絡を、そして跡片付けをし、最後に必ず火の後始末の確認をお願いしたい。」との事でした。

お話を伺い人望の厚さを感じとられ、館長さんにふさわしい方と確信しました。

私達にできることは、色んな行事をとおして公民館に通うこと。賑わいのある公民館を創っていきたいものです。

(東海林隆記)

新公民館長 鈴木幸雄さん(北二)

近所の人事

「一案内のことと思えますが、地域活動の先頭に立つてがんばっておられる北公民館運営委員会の方々を御紹介いたします。

- 連合会長 土屋 英雄
 - 北一区长 森山 栄
 - 北二区长 岩月 忠幸
 - 北三区长 佐藤 良蔵
 - 連合会会計 森山 寿
 - 青壮年会長 山崎 秀行
 - 消防団部長 渡辺 芳弘
 - 老人会長 早坂祥次郎
 - 婦人会長 (一) 森谷ミサ子
 - (二) 山崎かよ子
 - (三) 早坂セツ子
 - 若妻会長 渡辺 洋子
 - 子ども育成会長 山崎 稔
 - 交通安全協会 土屋 博昭
 - KSC (一) 鈴木寛幸
 - (二) 佐藤利光
 - (三) 佐藤正男
- (※KSCは旧の体育指導員)
- 北公民館長 鈴木 幸雄
北公民館主事 土屋 忠幸

これからの行事

◎8月12日(日) 北堀公園
草刈・北区盆踊り大会

◎8月26日(日) 地区レク
リエーション大会

◎10月28日(日) 秋のゴミゼロ運動

◎11月3日(土)～4日
(日) 蔵増地区文化祭

ごくろうさま でした

平成十二年度をもって次の方々が退会されました。皆様からは、壮年会活動の基礎づくり、そして活性化に御尽力いただきました。献身的な奉仕と、地域を愛する活動に深く感謝を申し上げます。

- 森谷 久一 様(北一)
- 早坂 祥美 様(北三)
- 土屋 安二 様(北三)
- 鈴木 隆生 様(北二)

御冥福をお祈りします
斎藤 繁信 様(北三)

☆第24回詰め将棋の回答

- ▲4五銀 △2三五
- ▲3五桂 △同 銀
- ▲3四銀 △同 玉
- ▲3三金 まで七手詰め

あ と が き

▽ 梅雨明けはまだ先のこととはいえ、毎日の猛暑で冷んやりとした水の感触が恋しくなってきた。まもなく、庄内浜の海開きが相次ぐ。毎年夏になると新聞で水難事故の記事を多く見かける。海は足が届かないので恐ろしい。今年も足の届くプールで、安全に楽しく水の季節を味わいたい。

(常任委員 森山美典)

▽ 連日のように殺傷事件のニュースが流れて来る。大阪児童殺傷事件など考えられない事件が次々と。県内の一部の学校でも警備員を配置したとか。子ども達に挨拶の大切さを教え、開かれた学校を目指してきた教育に後退はないのか。いつも犯罪者の育った環境を思い浮かべてしまう。命の尊さ、人を思いやる心、それらを育む家族の愛情がある限り、決してこんな事件は起きないのでは。。

(常任委員 秋保栄)

編集委員

委員長：奥山正男 ・常任委員：秋保栄、森山美典、東海林隆
・区選出委員：1区 後藤賢次、2区 今田仁志、3区 土屋博明
・部選出委員：ソフト部 山崎稔、将棋部(兼) 森山、麻雀部 斎藤勉、謡曲部 土屋弘良、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄

表紙題字 書道部長 東海林鳳竹(隆) 書